



よく生きよ

「共働・共励」「共鳴・共感」

大仙市立大曲中学校
3年学年通信 No. 1
令和3年4月5日

夢を抱いて 春風に立つ

蒼令学年の中学校最後の一年がスタートしました。蒼令学年のスタッフは新たに学年に加わった7名を入れた14人のスタッフと新たな8つの学級となった、248名の生徒の皆さんとでスタートします。最後の一年をともに過ごす仲間のことを深く理解し、お互いのよさを認め合って思い出深い一年にしていきたいと思います。

いよいよ曲中の先頭に立ち、全校をリードして活動を進めていくことになります。

「よく生きよ」という言葉と向き合い、「社会に旅立つ曲中生になる」ことを目標に何事にも全力で取り組んでほしいと思っています。

保護者の皆様にはこれまで以上のご協力をいただければ幸いです。

新任式では新任の先生方へ2, 3年生での初めての校歌を披露しました。結花子さんの伴奏、ソリスト（ソプラノ：美侑さん、テノール：雅俊さん、朗唱：愛華さん）はこれがデビューとなりました。デビューとは思えない、堂々とした伴奏、歌唱で、心に残る校歌とすることができました。これからも、全校生徒で、”日本一の校歌”を作り上げてほしいと思います。



始業式では301組の凌聖さんが今年度の抱負を発表しましたので紹介します。

曲中生としての最後の一年を迎えて

いよいよ、曲中生として最後の一年が始まります。

私にはその最後の一年に頑張りたいことが二つあります。

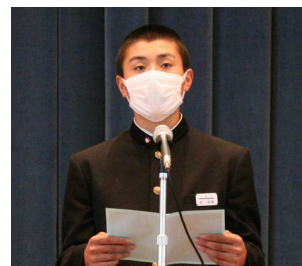
一つ目は部活動です。私は野球部に所属し、主将を務めています。

昨年の試合では、あまり、思うような結果を残すことができませんでした。

その悔しさをばねに冬のハードな練習に取り組んだ事で、以前よりもスピードやパワーが増してきたと思います。その成果を生かし、今後、チーム全員が勝利を意識した練習に取り組むことで、春・夏ともに全県大会出場の切符を手にしたいと思います。

二つ目は学習です。いよいよ、受験生としてのシーズンが始まりました。3月の先輩と語り合う会では高校生の先輩から高校生活のことや受験に向けてのアドバイスなどを聞くことができました。最終目標の受験合格を目指し、ただ、勉強の量を増やすだけではなく、志望校を意識した計画的な学習に取り組んでいきたいと思っています。

今年はいよいよ曲中の先頭に立つ存在となります。最上級生としての自覚をもった行動を心がけたいと思います。自分から進んで動くことを意識し、「よく生きよ」という言葉を胸に、中学校生活、最後の一年を充実したものにしていきたいです。



※裏面に今年度の蒼令学年を担当するスタッフを紹介します。